

Q.

仙台にはじめて建ったホテルについて知りたい。

A.

東北初のホテルが開店した時期は、明治21年(1888)と明治23年(1890)の2説あった。ホテル仙台プラザのホームページによると、「陸奥ホテル」の創業は明治21年と紹介されている。

『仙台老舗百店史』では創業明治21年と記載されているが、『仙台はじめて物語』p.89～91によると東北最初のホテルは日本鉄道経営の「仙台陸奥館」で、仙台駅構内に明治23年3月19日に完成したとある。最初に「ホテル」という名称を使ったのは「陸奥ホテル」で、仙台陸奥館の別館として明治25年(1892)7月21日に開店したとある。場所は駅前広場北側の現在のパルコのあたりであった。

『仙台老舗百店史』p.122によると、「東北初のホテルは陸奥ホテル別館で、創業は明治21年のことである」と記載されている。

「陸奥ホテル」と「陸奥館」は混同して記載されていたようだ。

陸奥ホテルは売却され、「陸奥別館青木ホテル」となり、その後「仙台セントラルホテル」と名前を変える。

現在は「ホテル仙台プラザ」となり、場所も仙台駅構内ではない。

## 回答プロセス

まず、『仙台はじめて物語』を、それから『仙台老舗百店史』を調べてみた。

すると、「仙台陸奥館」「陸奥ホテル」「明治21年」「明治23年」といくつかキーワードが出てきたので、検索してみたがでてこなかった。

陸奥ホテルは後に仙台セントラルホテルに名称を変えたということから、仙台セントラルホテルの経営者だった青木助三郎氏の著作『仙台駅界限八十年』にたどりつく。

『仙台駅界限八十年』p.9に、「明治22年の仙台市の地図を見ると(中略)陸奥館という直営の洋風ホテルがあった。」とある。

そこで、『改正仙臺市明細全図』という明治22年の地図を調べるが、陸奥館の記載はなかった。

また、仙台セントラルホテルは、現在のホテル仙台プラザということがわかり、ホテル仙台プラザの公式ホームページにたどりついた。

### 参考資料

『仙台はじめて物語』(逸見英夫／著 創童舎 1995年)

『仙台老舗百店史』(藤井健児／編著 ユーモア・アドバイス社 1968年)

『仙台駅界限八十年 或る「一匹狼」の生涯』(青木助三郎／著 仙台セントラルホテル 1968年)

『改正仙臺市明細全図』(複製)(三輪秀春／著 仙台静雲堂 1889年)

ホテル仙台プラザ公式ホームページ <http://www.hotelsendaiplaza.co.jp/>

(2010年3月1日現在)